

ガス栓をご使用になるみなさまへ

このガス栓をご使用になる前によくお読みください。

LPガス用 フレキ&ON・OFFヒューズガス栓取扱説明書

型式…KFUO-43L, KFUO-43R

⊘ は、禁止 ⚠ は注意または警告を表したものです。

1. 接続できるガス機器

- 1) ヒューズガス栓側
 - ・LPガス用の移動式燃焼器具でガス消費量が15kW以下の器具をお使いください。
- 2) フレキガス栓側
 - ・LPガス用の固定式燃焼器具でガス消費量が45.4kW以下の器具をお使いください。

2. ガス栓の使用方法

- 1) ゴム管の接続方法
 - ・ホースエンドには、9.5mmゴム管をホースエンドの赤線の位置まで確実に差し込み、ゴム管止めで止めてください。
 - ⚠ ゴム管との接続時、ガス栓キャップを外し、ホースエンドの先端に異物等が無いことを確認してください。
 - ⚠ ゴム管の長さは5m以下でお使いください。(図-1)

- 2) ガス栓の開閉方法(つまみの操作)
 - ・ガス栓のつまみを押したまま左へ回すと「開」、右へ回すと「閉」になります。
 - ・ガスを使用する際は、つまみは必ず「開」状態でお使いください。

⚠ ヒューズガス栓側は、つまみが「開」状態で初めてガスが流れる機構になっております。

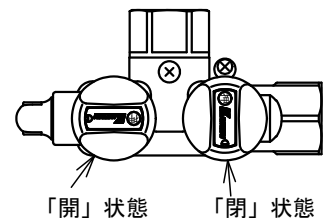
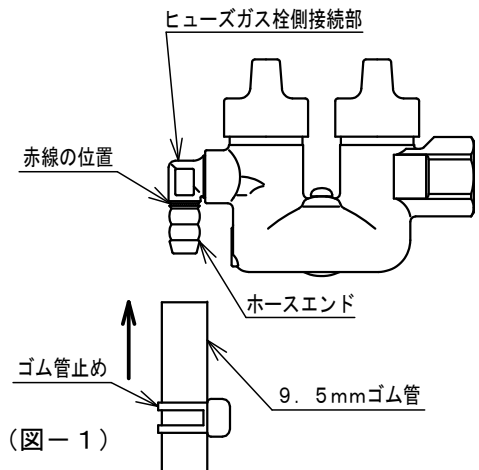
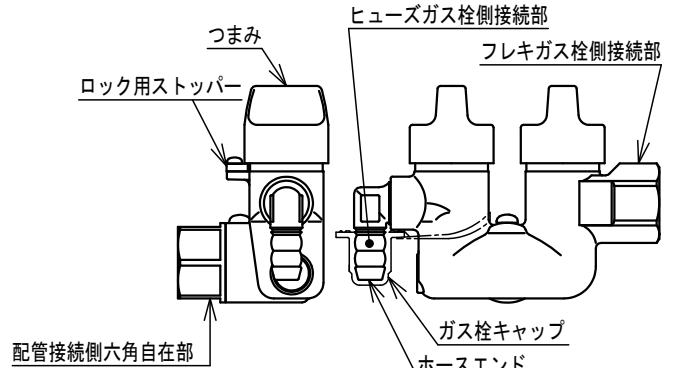
(「中間開栓」状態ではガスが出ません。)(図-2)

⚠ ガスを使用する際は、ガス栓とガス器具が接続されており、ガス器具の器具栓が「閉」になっていることを確認してから、つまみを「開」にしてください。

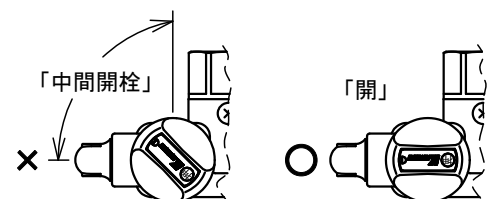
⚠ ガスの使用を終了したときは、必ずつまみを「閉」状態にしてください。

⚠ ヒューズガス栓とガス機器が接続されていないときは、必ずつまみを「閉」にしてガス栓キャップを取り付けてください。

⚠ フレキガス栓側に接続された燃焼器を撤去する場合は、必ずガス販売事業者へ連絡し、閉栓状態でロック用ストッパーを掛けると共に、ガス漏れのないようにRc1/2ねじ部に金属栓を取り付けてもらってください。



「中間開栓」状態とは、開・閉でない状態で、つまみが開と閉の中間位置にある状態をいう。



(図-2)

3. ガスが止まった場合の復帰方法

- ・ヒューズガス栓側は、つまみ「開」状態でゴム管のはずれ等により多量のガスが流れたとき、「ヒューズ」機能が働きガスが止まります。
- ・ヒューズガス栓のつまみを「閉」にし、ゴム管の接続をお調べください。
- ・ゴム管の接続を完全にし、ガス機器の器具栓が「閉」になっていることを確認した後、ヒューズガス栓側のつまみを「開」にしてご使用ください。

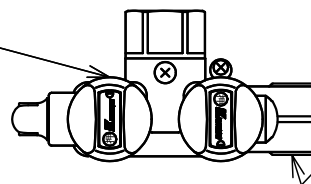
4. ご使用上のご注意

- ⊗ ガス栓に物を落としたり、衝撃を加えたりしないでください。
- ⊗ ガス栓を取りはずしたり、分解などしないでください。
- ⊗ ガス栓に水、お湯、洗剤などかけないでください。
- ・ガス漏れ等異常が発見されたときは、ガスの使用を中止しガス販売事業者へただちに連絡してください。

5. 交換期限・保証書

- ・このガス栓は、適合性検査合格品です。
- ・この製品の交換期限は製造後15年以内です。また、交換期限内でも性能等に異常が生じたときは新しいガス栓と交換してください。（製造年月は、ガス栓に表示してあります。）
- ・保証書は、保障期間などが明記されております、必ず受け取り内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。

合格証票



製造年月表示

ガス販売事業者名

- ・このガス栓について、お気づきの点、ご不明な点などございましたらガス販売事業者または桂精機製作所までご連絡ください。

販売店



株式会社 桂精機製作所

本社：〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町1番地1
(アーバンスクエア横浜)

TEL 045-461-2334

2014. 3. 287

工事施工者・ガス販売事業者のみなさまへ

工事施工者・ガス販売事業者様用

LPガス用 フレキ&ON・OFFヒューズガス栓取付説明書

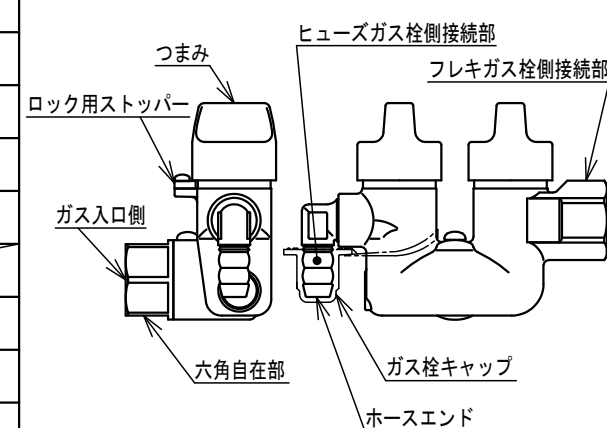
型式…KFUO-43L, KFUO-43R

この説明書は、LPガス用フレキ&ヒューズガス栓の取付方法について説明いたします。
よくお読みのうえ正しく、工事を行ってください。

⊘ は、禁止 ⚠ は注意または警告を表したものです。

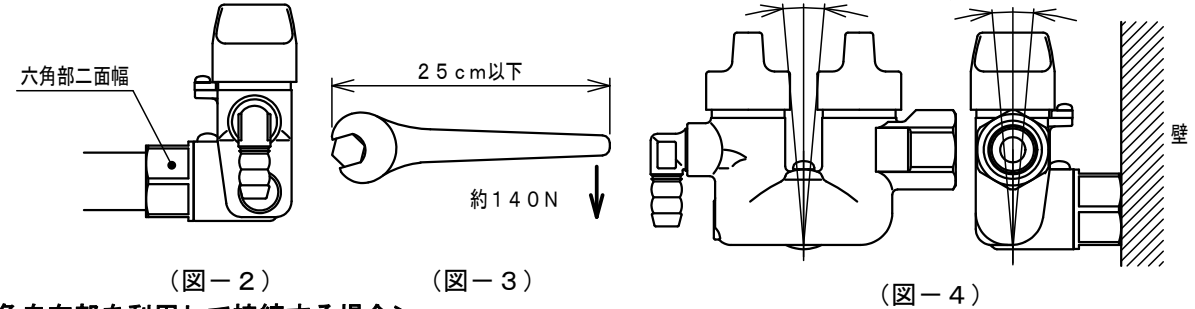
- ⚠ このガス栓の取付工事は、液化石油ガス設備士の資格を有した方が行ってください。
- ⊘ このガス栓は、LPガス専用です。LPガス設備以外には使用しないでください。
- ⊘ ヒューズガス栓側は、移動式の小型燃焼器具用です。ガス消費量が15kWを超えるガス器具には使用しないでください。
- ⊘ フレキガス栓側は、固定式の小型燃焼器具用です。ガス消費量が45.4kWを超えるガス器具及び動かされるおそれのある器具、バーナーなどが取りはずされる器具には使用しないでください。
- ⊘ このガス栓に物を落としたり、つまみなどに過大な力を加えたりしないでください。
- ⊘ 分解・改造して取付けしないでください。
- ⊘ 火炎や輻射熱を受ける場所には設置しないでください。
- ⊘ 浴室等、常時多量の水がかかりやすい場所、湿度の高い場所及び有害ガス（アンモニア、亜硫酸ガスなど）がある場所、またはそのおそれのある場所には設置しないでください。
- ⊘ フレキガス栓側には、ガスの流れ方向を矢印（→）で表示してあります。ガスの入口側、出口側を間違えないように接続してください。
- ⚠ フレキガス栓側は、ガス栓止めとならないように器具と接続してください。

1. 仕様及び各部の名称

項目	主な仕様		各部の名称			
空気流量 圧損0.1kPa時	ヒューズガス栓側	フレキガス栓側	 <p>つまみ、ロック用ストッパー、ガス入口側、六角自在部、ヒューズガス栓側接続部、フレキガス栓側接続部、ガス栓キャップ、ホースエンド</p>			
	700 L/h 空気以上	2000 L/h 空気以上				
接続寸法	出口側	φ9.5ホースエンド			Rc1/2	
	入口側	Rc1/2				
使用可能な燃焼器 (LPガス消費量)	ヒューズガス栓側	フレキガス栓側				
	15kW以下	45.4kW以下				
ヒューズ作動流量	1200±120 L/h (空気)					
使用温度範囲	-10℃~70℃					
使用ガス	LPガス					
使用圧力範囲	2.3kPa~3.3kPa					
つまみ操作	押し回し90°回転					

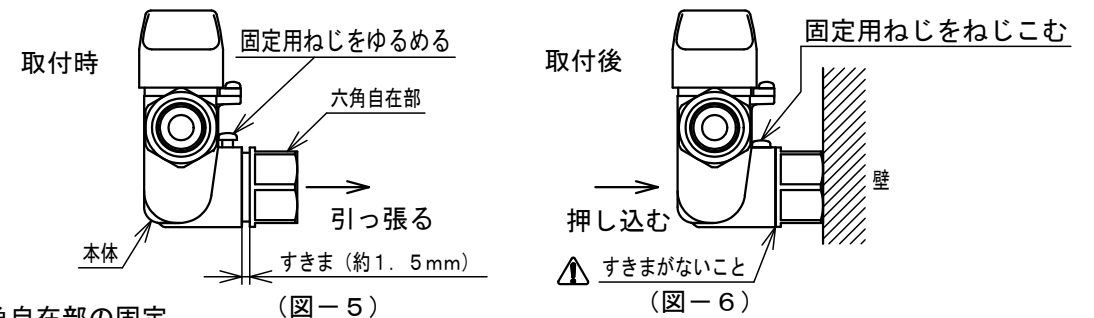
2. 施工手順

- ① 接続する配管部先端の切粉、ゴミなどの異物は完全に除去し、おねじ部先端を2山残し全周にわたり、耐LPガス性不乾性シーラントを塗布してください。
⊘ シールテープは使用しないでください。（図-1）
- ② 接続に際しては、ガス栓の六角部二面幅（27mm）に工具をかけて締め込んでください。
工具は、モンキーレンチ、スパナ等を用いてガス栓を傷つけないようにしてください。（図-2）
- ⚠ 無理な締め付けをした場合、変形が生じ、ガス漏れの原因となります。
（最大締め付けトルク 35N・m）（図-3）
- ⚠ ガス栓は、前後左右5°以内に傾かないよう垂直（ガス栓のつまみが上向き）に取付けてください。
ヒューズが誤作動する原因となります。（図-4）



<六角自在部を利用して接続する場合>

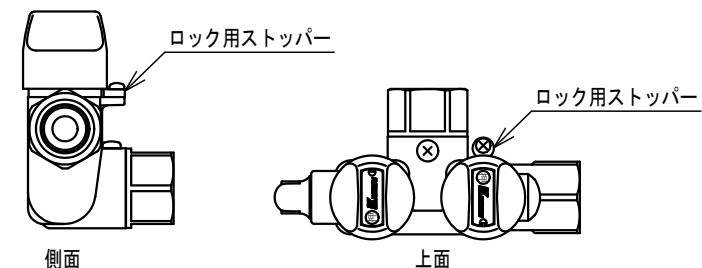
- ① 六角自在部の解除
固定用ねじを2回転ほどゆるめて六角自在部を本体より引き出し（約1.5mm）六角自在部が回ることを確認してください。（図-5）
その後、上記施工手順①、②に従い作業を行い、施工作业が終了しましたら六角自在部を固定してください。



- ② 六角自在部の固定
ガス栓のつまみが真上になるように本体の位置合わせ（本体の傾きは前後左右5°以内）を行った後、本体を押し込み、本体と六角自在部のすきまがないことを確認し、固定用ねじを元通りに締め付けてください。（図-6）

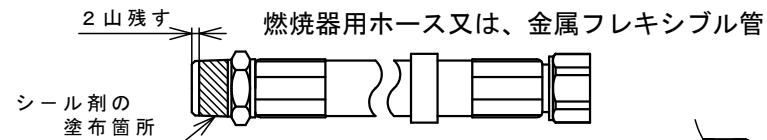
3. フレキガス栓と燃焼器具の接続

- ⚠ フレキガス栓側と燃焼器具の接続が完了するまでロック用ストッパーは、はずさないでください。（製品出荷時は、開栓操作はできません。）
- ⊘ 燃焼器具との接続は、燃焼器用ホース又は、金属フレキシブル管を用いてください。（燃焼器具と接続金具（めす側）の接続は、法令で定められた規定に従ってください。）



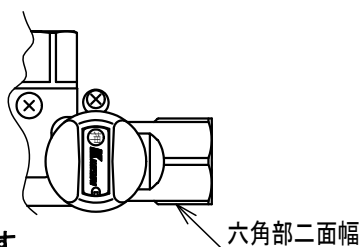
- ① フレキガス栓側と燃焼器用ホース又は、金属フレキシブル管を接続するときには、接続金具（おす）先端を2山残し全周にわたり、耐LPガス性不乾性シール剤を塗布してください。

⊗ シールテープは使用しないでください。



- ② 接続に際しては、ガス栓の六角部二面幅（27mm）に工具をかけて締め込んでください。

工具は、モンキーレンチ、スパナ等を用いてガス栓を傷つけないようにしてください。



⚠ 無理な締め付けをした場合、変形が生じ、ガス漏れの原因となります。

（最大締め付けトルク 35N・m）

- ③ フレキガス栓と燃焼器具の接続が完了したらロック用ストッパーのねじをゆるめ、ロック用ストッパーを回転させてロックを解除した後、その状態でゆるめたねじを締め込んでください。（図-7）

⚠ ガス栓の開閉操作がスムーズであることを確認してください。



4. 気密試験及び作動確認

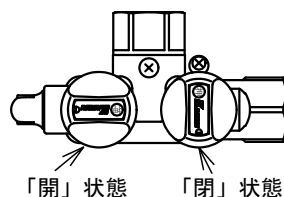
⚠ 取付終了後は、「液石法」に定められた気密試験を行ってください。

⚠ ガス栓の開閉操作がスムーズであることを確認してください。

※閉から開にするときは、つまみを押しながらかつまみを90°回してください。

5. ヒューズ作動確認

- ① ヒューズガス栓のつまみを「開」にしてヒューズが作動することを確認してください。
- ② ヒューズの復帰は、つまみを「閉」にしてください。
ヒューズが復帰したことを確認するため、もう一度①の操作を行ってください。



6. エアーパージ

- ① エアーパージは、エアーパージカプラ（別売）を図-8のように取付け、必ずヒューズガス栓側のつまみを開にしてエアーパージを行ってください。（図-8）

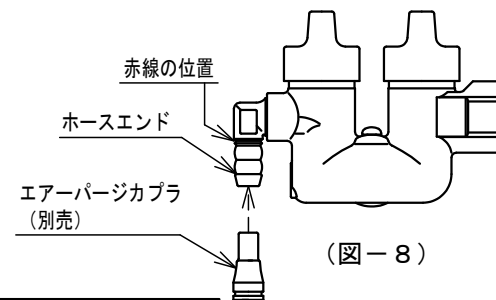
⚠ 「中間開栓」状態では、ガスが出ません。（図-9）

⚠ 必ず専用のエアーパージカプラを使用してください。（図-8）

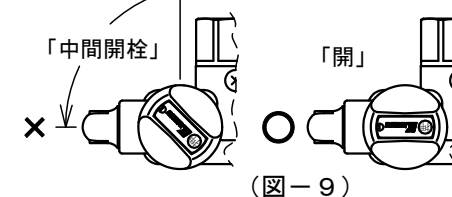
- ② ガス置換されたことを確認した後、つまみを「閉」にし、エアーパージカプラを取りはずしてください。

⚠ エアーパージを行う際の排出空気には、LPガスが混ざっていますので火気には十分注意してください。

- ③ 燃焼試験を行う場合は、ホースエンドの赤線位置までゴム管を確実に差し込んで実施してください。



「中間開栓」状態とは、開・閉でない状態で、つまみが開と閉の中間位置にある状態をいう。



7. 施工完了後のご注意

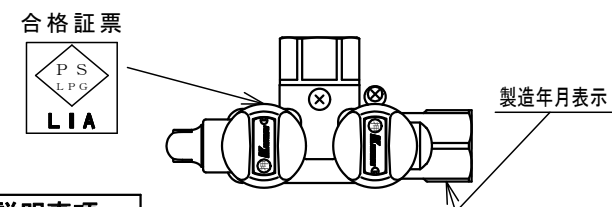
・ガス栓取付工事完了後、ガス栓が「閉」状態になっていることを確認してください。

⚠ ヒューズガス栓とガス機器が接続されていないときは、必ずつまみを「閉」にしてガス栓キャップを取り付けてください。

⚠ フレキガス栓とガス機器が接続されていないときは、必ず閉栓状態でロック用ストッパーを掛け、ガス漏れのないようにRc1/2ねじ部に金属栓を取り付けてください。
（ロック作業の方法については、図-7を参考にしてください。）

8. 設置後の維持管理

- ・LPガス設備の安全を図るために、ガス栓に数字で表示してある製造年月を消費者保安台帳に記録し、期限管理によって保安確保に万全を期してください。
- ・この製品の交換期限は製造後15年以内です。また、交換期限内でも性能等に異常が生じたときは新しいガス栓と交換してください。（製造年月は、ガス栓に表示してあります。）



9. ガスを使用される方への説明事項

- ・取付工事完了後、ガス栓を使用される方に、別紙「ガス栓保証書」および「LPガス用フレキ&ON・OFFヒューズガス栓取扱説明書」についてご説明し、内容を理解して頂いた後連絡先をご記入の上お渡しく下さい。

ガス販売事業者名

- ・このガス栓について、お気づきの点、ご不明な点などございましたらガス販売事業者または桂精機製作所までご連絡ください。

販売店



株式会社 桂精機製作所

本社：〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町1番地1
（アーバンスクエア横浜）

TEL 045-461-2334